会議議事録

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 令和2年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」（２）教職員の資質能力向上の推進①効果的な教育成果②教職員研修プログラムの構築 |
| 代表校 | 一般社団法人全国専門学校教育研究会 |

|  |  |
| --- | --- |
| 会議名 | 第2回教員研修プログラム開発委員会 |
| 開催日時 | 令和2年11月20日（金）　10時00分～11時00分 |
| 場所 | リファレンス駅東ビル貸会議室（オンライン開催併用） |
| 出席者 | 委　員：上里　政光、岡村　慎一、岩切　直子、佐藤　昭宏　　　　オンライン参加：猪俣　昇　　　　　　　　　　　　　計5名請負業者：飯塚　正成　　　　　　　　　　　　　　　　　　　計1名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　合計6名 |
| 議題等 | 1. 各WGの進捗報告①ICT活用研修WG（猪俣）◆アダプティブラーニングに関する実態調査・アンケートは実施中、今後ヒアリング調査を12月から12校実施予定。・スタートは遅れたが、最終的には、スケジュール通りに進む予定。・アンケート対象は、全専研加盟校、専門学校、学習塾、高校、大学（短大含む）、研修会社、スクール、障害者支援の 合計 200 か所。・11/18現在の151件の回答をいただいている。◆今後のスケジュール・アンケート調査の回答から、12校をピックアップしヒアリングを実施する。・ヒアリングの担当、進行、調査レポートについて事前打ち合わせを実施。②学習評価WG（佐藤）◆進捗サマリ・アンケート調査、アンクションリサーチ共に取集すべき情報の観点や内容は詰まってきた。・若干の遅れはあるものの、当初計画していた内容は年度内にリカバリ可能なレベルで進行。◆教員研修プログラム開発・非認知能力の評価に焦点を当て、評価基準作成のための「手引き」と「研修プログラム」を作成する。・アンケートは、本日フォームの最終チェック、11月24日～12月4日で　調査を実施する。・アクションリサーチは、学科・コースに対する調査と、授業担当者に対する調査に分け、11月より開始している。・年明けにアンケートとアクションリサーチの結果を照合し、開発に反映　していく。・非認知能力の言語化・育成攻略が自己点検評価・第三者評価に繋がって　使用してもらえるプログラムができると良い。2. 成果報告会の運営・2月末頃を予定。・12月3日の協議会でどのように進めるか決定する。3. 今後のスケジュール・第3回教員研修プログラム開発委員会　1月25日（月）14時00分～15時00分福岡にて対面を予定するが状況次第でオンラインを検討。4. 事務局より・今後変更が生じたら事務局まで連絡をお願いしたい。・ヒアリング調査などの対面・オンラインの形式、スケジュールの追加・文献調査・レポート作成などの追加　など |
| 配布資料 | ・ICT活用WG進捗報告2020\_11\_20・教員研修プログラム開発　進捗共有1120（佐藤） |

以上